

AIが意思決定と実行を支える次世代型観光地経営モデル 「豊岡観光AX(AIトランスフォーメーション)」推進事業

現状及び課題、解決策と目指す姿

- ・ 豊岡市は、城崎温泉や城下町出石、神鍋高原をはじめとする多様な地域資源があり、インバウンドは増加している。しかし、旅行者は城崎エリアに集中しており、他エリアへの周遊が不十分となっている。
- ・ 過年度に構築した観光データ基盤は存在するが、経営改善の意思決定・施策実行に活用している事業者は少数であり、データ活用が事業者全体に浸透していない。
- ・ 本事業では、既存の観光データ基盤に口コミやアンケートを統合し、分析から施策提案を実施できるマルチ型AIエージェントを開発する。併せて、アンバサダー事業者の育成と勉強会により、地域全体のデータ活用を推進する。
- ・ マルチ型AIエージェントを活用し、AIが地域保有データを統合分析して実行可能な施策を提案する観光地経営モデルを構築することで、他地域への周遊促進と地域経済の好循環を目指す。

事業概要

過年度に構築した観光データ基盤の宿泊・決済データに旅行者の口コミやアンケート結果を統合し、マルチ型AIエージェントによる分析・施策提案機能を構築する。併せて、アンバサダー事業者の育成や勉強会による活用ノウハウの共有、提案施策の実践・効果検証に取り組むことで、事業者の経営改善、客単価向上、周遊促進、インバウンド消費拡大を実現する。

取組地域 : 兵庫県豊岡市
コンソーシアム名 : 豊岡観光DX推進協議会
代表事業者 : 豊岡観光イノベーション

実証内容

1. 豊岡観光AX基盤における観光データ統合実証
2. 観光事業者向け経営高度化支援AI構築
3. 観光事業者向けAI活用浸透・定着支援

目標値

KGI ダッシュボードに搭載されたAIの分析結果を利用し、経営判断に使ったかどうか
(5段階評価中4以上の回答が75%)

KPI AI利用セッション数(920回)

